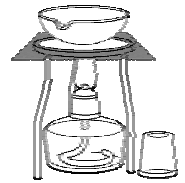


第5学年「理科」シラバス

5年生ではこんな学習をします



学習の目標

植物の発芽から結実までの過程、動物の発生や成長などをそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する過程を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生命の連続性についての見方や考え方を養います。

物の溶け方、てこ及び物の動きの変化をそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究したり、ものづくりをしたりする活動を通して、物の変化の規則性についての見方や考え方を養います。

天気の変化や流水の様子を時間や水量、自然災害などに目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追求する活動を通して、気象現象や流水の動きの規則性についての見方や考え方を養います。

学習の方法

見通しをもって問題解決活動ができるように「予想を立て実験を計画し、実際に検証し結果を考察する」問題解決の場面を多くとり入れて学習を進めます。

コンピューターを使って情報を収集させたり、写真や映像を提示したりするなどして児童が興味関心を持って学習活動に取り組めるような場面を設定します。

学習の評価

理科では次の観点で評価します。

「自然を意欲的に追究し、見いだしたことを生活に生かそうとする。」

【観察・実験・ものづくりの態度、ノートの記録、発言の様子、学習用具の準備など】

「自然事象の変化とその要因との関係に問題を見つけ、量的変化や時間的变化をとらえ、問題を解決する。」

【ノートの記録、発言の様子、テストなど】

「問題解決に適した方法を工夫して観察・実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現する。」

【観察・実験・ものづくりの様子、ノートの記録、実験器具の扱い、テストなど】

「自然事象を理解している。」

【発言やノートの内容、テストなど】

年間の学習計画

	学習する单元	学習の内容
前期 45時間	1 植物の発芽と成長	植物を育て、植物の発芽、成長及び結実の様子を調べ、植物の発芽、成長及び結実とその条件についての考えをもつようにします。
	+ 受けつがれる生命	ヒトは受精卵が母親の体内で育ってから生まれることをとらえることができるようにします。
	2 動物のたんじょう	魚を育てたり人の発生についての資料を活用したりして、卵の変化の様子を調べ、動物の発生や成長についての考えをもつようにします。
	3 花から実へ	植物の発生と成長の单元と同じです。
後期 50時間	自由研究をしよう	夏休みの自由研究のテーマのたてかたや研究の進め方を学習します。
	台風と気象情報	気象と水の働き of 学習に役立つように、台風について学習します。
	4 わたしたちの気象台	映像などの情報を活用し、天気の変わり方を調べ、天気の変化の仕方についての考えをもつようにします。
	5 流れる水のはたらき	地面を流れる水や川の様子を観察し、流れる水の速さや量による働きの違いを調べ、流れる水の働きと土地の変化の関係についての考えをもつようにします。
後期 50時間	6 てんびんとてこ	てこを使い、力の加わる位置や大きさを変えて、てこの仕組みや働きを調べ、てこの規則性についての考えをもつようにします。
	7 もののとけ方	物を水に溶かし、水の温度や量による溶け方の違いを調べ、物の溶け方の規則性についての考えをもつようにします。
	8 おもりが動くとき	おもりを使い、おもりの重さや動く速さなどを変えて物の動く様子を調べ、物の動きの規則性についての考えをもつようにします。
	情報を活用しよう	これまでにしてきた、コンピューターなどの利用の仕方や情報について振り返る学習です。